

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和4年8月29日



学校だより

8, 9月号

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

聞き上手

校長 鈴木 彰

夏休み中に、ある保護者の方から「先生。ウチの子、学校の様子を全然話してくれないんです。」と、相談されました。今回に限らず、この相談は、とても多いです。

親の見ていない場所での出来事を知るために、聞き上手になりましょう。聞き上手のお母さん・お父さんの子は、話し上手に育っていきます。

「今日。学校でどうだった?」

と、お子さんに尋ねることはありませんか。

「ううん。べつに。」「とくに、なにも…。」

「んー、もうっ! 学校で何もしなかったの?」



大人に置き換えてみましょう。

「今日。家事、どうだった?」と尋ねられたら、「どうって? いつも通りやったよ。」と答えませんか。

「今日、仕事どうだった?」と尋ねられたら、「いつもと同じだよ。疲れた。」と答えませんか。

「私は何を知りたいのだろう」と、自分に尋ねてみます。

- ウチの子、友達と仲よくできたかな。
- 「校外学習に行く。」と言っていたけれど、どんな様子だったのかな。

知りたいことがはっきりしていれば、はっきりとした質問をすることができます。

「今日。〇〇さんと仲よく遊べた?」 「今日の校外学習は、どこに行ったの?」

きっとお子さんは、はっきりと答えることでしょう。

「うん。ドッジボールをやったよ。」 「保木まで行ったよ。暑かった。」

この答えを聞いて、それから二つめの具体的な質問を考えればよいのです。きっと、ドッジボールをしていたときのことや保木までの道中のことなど、たくさんの出来事を知ることができます。子どもは、「今日、学校でどうだった?」のような漠然とした質問が苦手なのです。

私は、20年以上も教室で授業をしてきました。答えが一つの「質問」と、様々な返答が可能な「発問」を使い分けて、子どもたちと楽しく対話を続けてきました。

大人の問い方ひとつで、子どもの反応は変化します。保護者の皆様も聞き上手になって、ご家庭でのお子さんとの対話をぜひ楽しんでください。